

# 体調・感情の状態を表すスペイン語表現のインプットのための映像補助教材

—学習者アンケート調査からみえる利点・難点および使用法—

中 島 さやか

## 1. はじめに

日本の大学の第二外国語教育の現場では語彙や表現が定着しにくい問題がよく指摘される。その背景にはさまざまな要因があると考えられるが、時間的な制限をはじめとする複合的な理由から、授業を通じて学習者に提供される材料が、教員による説明や教科書の語彙リストなど文字情報に偏る傾向にあり、わかりやすいコンテキストの中で音声をとまなう自然に近いインプットが十分に与えられていないことが理由の一つにあると想定される。そのためここでは、スペイン語の体調・感情の状態を表す表現をとりあげ、その表現をより自然に近い形でインプットできるよう、イラストと音声を用いた短い映像補助教材を製作し、教材を使用した学習者を対象にアンケート調査を実施した。本稿は第二外国語のスペイン語教育の授業を補助する教材例の紹介とその実践報告である。

## 2. インプットのための短い映像補助教材

外国語教育において、Krashen (1985) が「i+1」と表現した、学習者の現在の能力よりわずかに高いレベルの理解可能なインプットを多量に与える必要性は現場の多くの教員に支持されている。しかし、講義時間が少なく、学習項目の多い文法シラバスに沿った教科書を用いて行うタイプの第二外国語教育においては、学習者のレベルに従った

インプットを自然に近い形で十分に与えることは容易ではない。近年発行されたスペイン語の教科書の多くでは、コンテキストの中で絵・写真、音声つきでターゲットとなる語彙や表現を導入する工夫がされている。しかし、教科書のページ数や紙面のスペース、録音の量などさまざまな制限により提供できる情報は限られており、また、授業時間も少ない傾向にあるため、語彙や表現のインプットに関する問題は、多くの現場で部分的にしか解決できていないと推測される。このような文脈において、習得のターゲットとなる語彙や表現が出てくるシンプルなフレーズや会話形式の音声を、語彙や表現の意味を示すイラストや写真と同時に見せて聞かせる映像教材は、教科書を使った学習を補助することができると考えられる。

一定の教育効果が期待される映像教材を自作することは、場面の理解しやすさ、表現の聞き取りやすさ、レベル、ターゲットとなる項目の意図的な繰り返しなどさまざまな点に注意を払って作る必要がある<sup>(1)</sup>、多忙な教員にとっては必ずしも容易ではないと思われる。しかし、複数の感覚から得られた記憶の方が一つの感覚のみの場合と比較し、定着率が高いことを根拠に語学教育における視聴覚資料の有用性を指摘した国立国語研究所(1995)の例など<sup>(2)</sup>、映像教材の利点は古くから指摘されており、開発・導入する意味は十分にあると考えられた。映像教材を通じてのインプットは、学習者の現実との関わりという点において実

際の会話の自然なコミュニケーションで得られるインプットには質的に及ばないと思われるが、e-learningなどで提供できるため、学習者がスマートフォンなどで場所を選ばず予習・復習・繰り返し学習などを行える利点もあり、また、反転授業的に映像を課題としてあらかじめ見てきてもらったり、ほかの教員と共有することも可能になるので、授業時間の効率化につながる可能性もあると考えられた。

### 3. 体調・感情の状態を表すスペイン語の表現とインプット

「お腹がすいた」「喉が渴いた」「熱がある」「疲れている」「怒っている」「悲しい」などの体調・感情の状態を表す表現は、多くのスペイン語の教科書において初級で扱う主要な学習項目の一つであり、セルバンテス協会編纂の指導要綱「スペイン語のためのヨーロッパ共通参照枠参考指導要項」では最も基本的な A1, A2 レベルの項目に分類されている<sup>(3)</sup>。この項目は意味的にはわかりやすいが、言語形式に関してはわかりにくいと学習者から多くの質問が寄せられる学習項目の一つである。現場で教員が受ける代表的な質問としては、「使用する動詞が tener か estar のどちらを使えばいいのかわからない」、「なぜ tener, あるいは estar になるのかわからない」「程度を表す表現 (muy, mucho, mucha, un poco, un poco de など) がどれを選んでよいかかわからない」「Estoy enfermo. の enfermo は女性形や複数形になるのに、なぜ Tengo frío. の frío は女性形や複数形にして使わないのか」などである。質問に対して教員が文法的な説明を行うと納得する学習者もいる一方、逆に混乱したり、やる気がそがれてしまうケースも観察される。また、学習者にフレーズ単

位での十分なインプットを与えず、語彙の暗記と文法説明のみで発話・作文をさせると、“Tengo una poca hambre.” “Tenemos muchos sueños.” といった、間違った形式の文章を作る学習者が多く出る傾向がある。中間言語研究の視点からは、外国語習得のプロセスで間違えるのは必要なことであるので、この段階でのアウトプットに含まれる間違いを問題視しないとする意見もあるかもしれないが、ここでの問題は間違いの有無ではなく、第二外国語習得の「インプット (input) →気づき (noticing) →理解 (comprehension) →内在化 (intake) →統合 (integration) →アウトプット (output)」のプロセス<sup>(4)</sup>を進めるに必要な、最初に確保すべきインプットが足りていないということである。

### 4. 本教材の目的とフォーカス・オン・フォームの言語観

本稿で紹介する教材と使用法の背景にはフォーカス・オン・フォームの言語習得観がある。フォーカス・オン・フォームの定義や実践方法は一樣ではないが、本稿の内容は「意味内容とコンテキストがある言語使用を中心とする授業の中で、必要に応じて学習者の注意を言語形式に向けさせていき、言葉の形式・意味・機能のつながりの構築を効果的に助けていく指導方法のことを指す」とした和泉 (2011) の定義に従っており、ここでの目的はその「意味内容とコンテキストがある言語使用」をわかりやすい形で与えることである。つまり、「インプット→文法形式の確認→タスクやペアワークなどを通じたアウトプットの活動」を想定した学習サイクルの、一番最初に行う言語材料のインプットを、学習者が日本語訳や文法説明を受けていない段階で、教材を見て意味を

理解し、「体調・感情の状態の表現」に関する認知プロセスをスタートさせ、次のステップで行う「学習者の注意を言語形式に向けさせる」までの下地を作ることである。ここでは、最初のインプットの段階で丸暗記をするとか、フレーズの文法事項を全て理解することは想定していない。映像を通じてまず意味を理解し、いくつかのフレーズを、不完全ではあっても音声をとまなうイメージとして捉え、漠然と「この動詞を使っていた」、「この意味を表すときはこんな感じの表現を使っていた」、「男性・女性で違っていた」「“mucho”と“much”があった」「“すごく怒っている”ということを伝えるときは“muy”を使っていた」といったような、学習者が言語の意味・形式・機能を取り込む際に起こるなんらかの「気づき」を一つでも多く得ることが目的である。したがって、学習者が映像をただ漠然と見るという状態にならないよう、「この映像では何が表現されているか」「それをどう言っているか」といった質問のある課題を映像を見る前に与え、何度か映像を見てももらったうえで、どんなことを言っていたかを日本語やスペイン語でメモしたり、教室で自由に言わせたり、映像のイラストやゼスチャーを見せてそれに合う表現を口に出して言わせたりする。その過程で間違っただけで覚えている箇所が出てくると考えられるが、学習者同士で訂正しあったり、教員が正しい形を提示したり、インプット強化 (input enhancement)<sup>(5)</sup> などを使って学習者が規則性を発見できるよう誘導し、理解を深める方向に促す。

本教材では、最初のインプットのために用いる映像にはテキストを入れなかった。これは、最初に文字を表示すると、音声に十分な注意を払わず、スペイン語を英語やローマ字読みにするなど、自己流の間違った読み方や不自然なイントネーションで覚えようとする学生が少なくないためであ

る。同じ材料で音声のテキストが表示されるバージョンも作成したが、学習項目の最終的な振り返りや復習用に使用する教材とした。学習者の中には、文字や日本語訳がないと不安に感じるケースも少なくないので、「日本語を通さなくても理解できる。」という感覚を学習者が体験し、文脈から意味を類推しながら表現を拾う練習をさせる意図もあった。

## 5. 映像教材の内容

ここで作成したのは“Estados de salud física y estados de ánimo (体調・感情の状態)”というタイトルの2分11秒の短い映像教材である。教科書によって「体調・感情の状態」の項目で扱われる具体的な表現は異なるが、今回は明治学院大学の指定の教科書『発見！大好き！！スペイン語！！1』<sup>(6)</sup>の表現を使用した。12の表現は最初のインプットとしては多いのではないかと考えられたが、教科書の学習を補助するという意味で教科書の語彙リストを網羅する形を取った。ここで扱われている「体調・感情の状態」の表現は頻度が高い一般的なものであるため、ほかの教科書を使用している学習者にも十分応用が可能である。

「体調・感情の状態」の文法および表現上のポイントの一つである二つの動詞 tener と estar に関しては、学習者はこれらの表現の導入前に同じ第5課ですでに学習しており、既習事項である。また、程度を表す mucho についても教科書の予備の課と、第3課で学習している。同じく程度を表す un poco は教科書のこの段階では未習であるが、poco の形では第3課で導入されているため、学習者は「程度が少ないという意味を表す」といった意味の予測をすることは可能である。

作成した映像教材は、ターゲットの表現が含まれている短いフレーズが、その内容を表現したシンプルなイラストと一緒に出てくる構成になっている。イラストはインターネット上の無料イラスト素材のサイト<sup>(7)</sup>から学習者にとってわかりやすいと思われるものを選んだ。

映像の中では体調・感情を表現する上で文法的に重要である tener と estar の両方が扱われ、主語の性・数が変わるパターン、「少し」「とても」といった程度の表現が加わるパターン、否定文、付加疑問文になるパターンなど、少しずつ形が変わっていく。一部この教科書の第5課までに出てこない表現や未習文法項目も含まれているが、文脈とイラストから自然に理解できるため問題にはならないと判断した。音声は学習者が最初から自然なスピードに慣れられるよう、ネイティブスピーカー2名に初級の学習者にわかりやすい程度のナチュラルスピードでの録音を依頼した<sup>(8)</sup>。テキストとイラストの内容から、主語の性別が特定される場合には、その性別の声が割り当てられている。

また、学習者にとってわかりにくいが大切な学習ポイントである箇所については一部インプット

強化の効果を狙い、少し強調した形で録音されている。

以下、使用したイラストとフレーズの意味・音声、学習者に気づきを得てもらいたいポイントおよびインプット強化を使った箇所の情報を記す(表1)。

## 6. 映像教材に対する学習者へのアンケート調査の結果

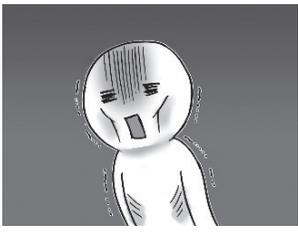
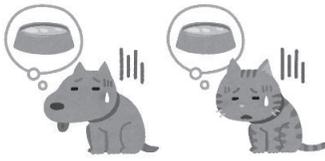
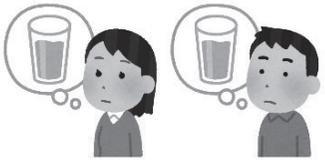
以上、紹介した映像教材は2019年7月12日に明治学院大学のスペイン語2A(初級)の授業内で使用し、教材とその使い方に関するアンケート調査を行った。全履修者は22名で、当日出席していた21名が回答した。

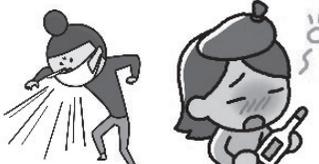
アンケート調査の内容は 1. 本教材の学習上の有用性 2. 教材の全体的なわかりやすさ(イラスト・音声など) 3. 学習の目標となっている個別の項目のわかりやすさ(学習目標項目の明確さ・場面との結びつけ・各表現や文法上のポイントなど) 4. 教材の使い方 の四つの点に関するものである。以下項目ごとにみていく。

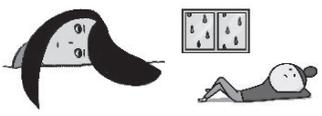
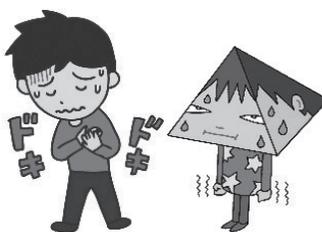
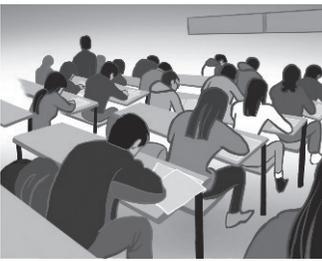
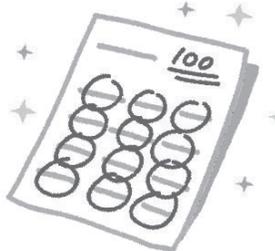
(表1)

番号	イラスト	フレーズ・意味 インプット強化(下線)	気づきを得てほしい形式の ポイント	声の性
PartA 1		Tengo calor. (私は)暑い。	tener動詞を用いて「暑い」という表現ができる。	男

2		<p>Tengo un poco de calor. (私は) 少し暑い。</p>	<p>“un poco de” を入れることによって、「少し」という程度を表すことができる。</p>	女
3		<p>Tengo mucho calor. (私は) とても暑い。</p>	<p>“mucho” を入れることによって、「とても」という程度を表すことができる。</p>	男
PartB 4		<p>Tenemos frío. (私達は) 寒い。</p>	<p>tenerを用いて「寒い」という意味を表している。PartAの1とは異なり1人称複数形である。主語は複数形だが、fríoは単数形である。</p>	男
5		<p>Tenemos un poco de frío. (私達は) 少し寒い。</p>	<p>PartAの2と同様, “un poco de”を入れることにより「少し」という程度を表すことができる。</p>	女
6		<p>Tenemos <u>mucho</u> frío. (私達は) とても寒い。</p>	<p>PartAの3と同様, “mucho” を入れることによって、「とても」という程度を表すことができる。</p>	男

<p>PartC 7</p>		<p>Tengo hambre. (私は)お腹がすいている。</p>	<p>tenerで「お腹がすいている」という意味が表現されている。</p>	<p>男</p>
<p>8</p>		<p>Tengo un poco de hambre. (私は)少しお腹がすいている。</p>	<p>PartAの2, PartBの5と同様, "un poco de"を入れることによって「少し」という程度を表すことができる。</p>	<p>女</p>
<p>9</p>		<p>Tengo <u>mucho, pero mucho</u> hambre. (私は)とても、とてもお腹がすいている。</p>	<p>PartAの3, PartBの6と同様, "mucho"で「とても」という程度を表すことができるが、ここでは"mucho"ではなく, "mucho"である。</p>	<p>女</p>
<p>PartD 10</p>		<p>Ellos tienen sed. (彼らは)喉が渴いている。</p>	<p>tenerを用いて「お腹がすいている」という意味が表現されている。主語は3人称複数形だが, sedは単数である。</p>	<p>男</p>
<p>11</p>		<p>Ellos tienen un poco de sed. (彼らは)少し喉が渴いている。</p>	<p>PartAの2, PartBの5, PartCの8と同様, "un poco de"で「少し」という程度を表すことができる。</p>	<p>女</p>

12		<p>Ellos tienen <b>mucha, mucha</b> sed.          (彼らは) とても、とても喉が渇いている。</p>	<p>PartAの3, PartBの6, PartCの9と同様, "mucho"で「とても」という程度を表すことができるが, ここでは"mucho"ではなく, "mucha"であり, 単数形である。</p>	男
PartE 13		<p>Estoy <b>cansado</b> y tengo mucho sueño.          (私は) 疲れていて, 眠い。</p>	<p>estarを用いて, 「疲れている」という意味が表現されている。"cansado"は男性単数形である。後半はtenerを使って「眠い」の意味を示している。</p>	男
14		<p>Estoy <b>cansada</b> y tengo mucho sueño.          (私は) 疲れていて, 眠い。</p>	<p>前の13と同様だが "cansada" は女性形である。しかしながら後半のsueñoは形が変わっていない。</p>	女
PartF 15		<p>Ellos están <b>resfriados</b> y tienen mucha fiebre.          (彼らは) 風邪をひいていて, 熱がある。</p>	<p>estarを用いて病気関連(ここでは「風邪をひいている」)の意味が表現されている。"resfriados"は男性複数形である。後半はtenerを用いて「熱がある」の意味を示しているが, 程度を表す表現は"mucha"である。fiebreは単数形である。</p>	男
16		<p>Ellas están <b>resfriadas</b> y tienen un poco de fiebre.          (彼女達は) 風邪をひいていて, 熱がある。</p>	<p>前の15と同様だが, 主語は女性複数形で"resfriadas"も女性複数形である。後半の"un poco de"で「少し」という程度を表している。fiebreの形は変わっていない。</p>	女

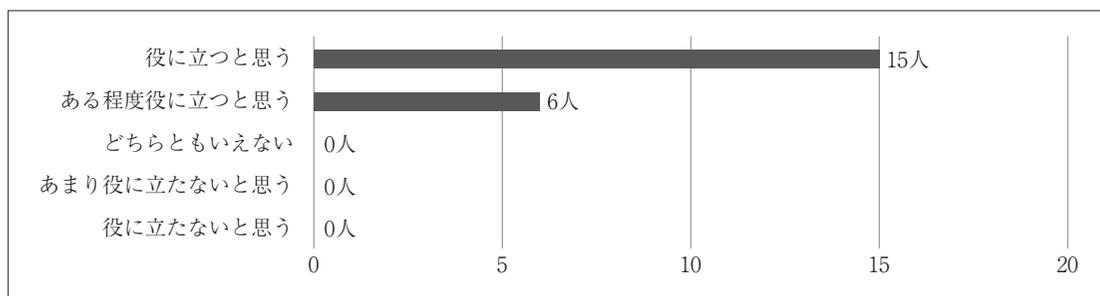
<p>PartG 17</p>		<p>Ellas están un poco aburridas. (彼女達は) 少し退屈している。</p>	<p>estarを用いて「退屈している」「つまらない」という意味が表現されている。女性複数で“aburridas”も女性複数形である。“un poco”で「少し」という程度を表すことができる。</p>	<p>女</p>
<p>18</p>		<p>Nosotros estamos <b>muy</b> nerviosos. (私達は) とても緊張している。</p>	<p>estarを用いて「緊張している」という意味が表現されている。“nerviosos”は男性複数形である。“muy”を用いて「とても」という程度を表している。</p>	<p>男</p>
<p>19</p>		<p>porque mañana tenemos un examen importante. なぜなら明日大事な試験があるからだ。</p>	<p>18の理由として「大事な試験があるから」と言っている。</p>	<p>男</p>
<p>PartH 20</p>		<p>Ellos están contentos, ¿no? 彼らは、満足しているよね？</p>	<p>estarを用いて「うれしい」「喜んでいる」という意味が表現されている。“contentos”は男性複数形である。“¿no?”は「そうではない？」という意味を示している。</p>	<p>男</p>
<p>21</p>		<p>Sí, están muy contentos, porque han sacado un 100 en el examen. はい、とても満足している。テストで100点取ったので。</p>	<p>20の理由として「100点を取ったから喜んでいる。」と言っている。“muy”を入れることによって「とても」という程度の意味を表している。</p>	<p>女</p>

22		Él está un poco enfadado, ¿verdad? 彼は少し怒っているよね？	estarを用いて「少し怒っている」という意味が表現されている。「un poco」は「少し」という程度を表している。「¿verdad?」は「そうではない?」という意味を示している。	女
23		Un poco no. Está <u>muy</u> enfadado, 少しではない。とても怒っている。	程度を表す「少し」が否定されている。「muy」を用いて「とても腹を立てている」という意味が表現されている。	男
24		porque le han robado la bicicleta. 自転車を盗まれたので。	23の理由として「自転車を盗まれたから」と言っている。	男

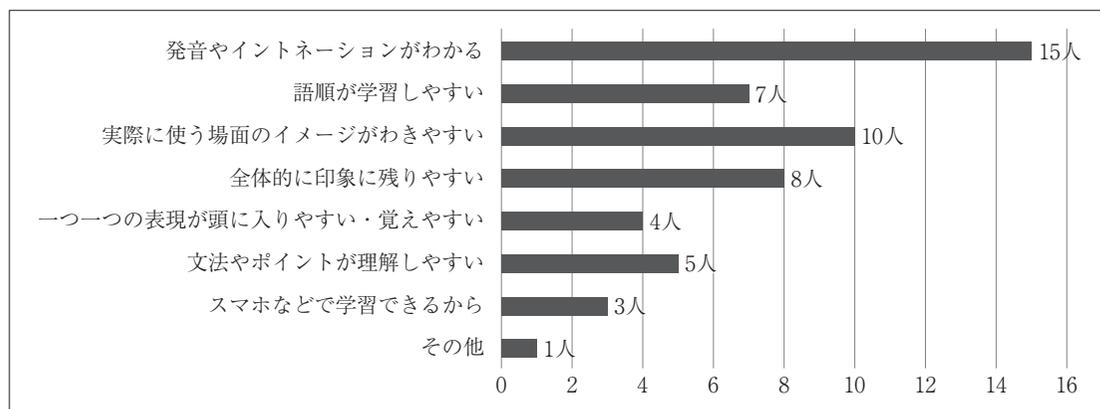
### 6-1. 本教材の学習上の有用性

まず全体的な教材の有用性とその理由を尋ねた。

**質問 1** 今回のようなショートビデオは外国語の語彙や表現、及びそれに関連した文法事項を学ぶのに、役に立つと思いますか？



質問2 「役に立つ」「ある程度」と回答した人へ) なぜ役に立つと思いましたか(複数回答可)



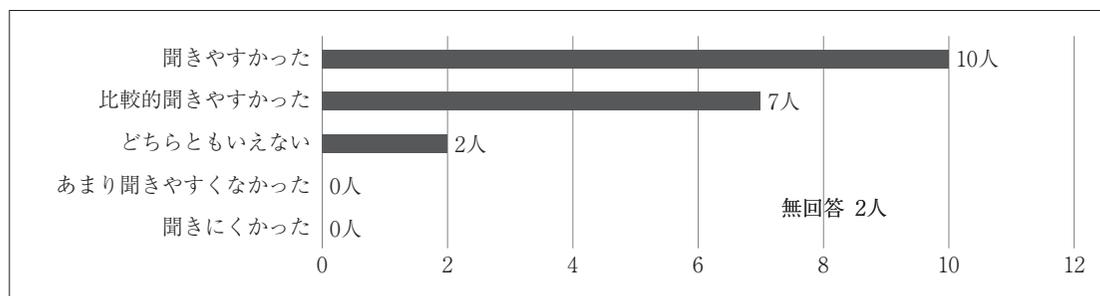
回答者21名中、全員が「役に立つ」「ある程度役に立つ」を選択し、有用であると回答した。その理由としては、一つ一つの表現の覚えやすさや文法的なポイントを理解できるというよりは、「発音・イントネーションがともなっている(15人:75%)」「使う場面のイメージがわかりやすい(10人:50%)」「印象に残りやすい(8人:40%)」な

ど発音や場面の捉えやすさを評価する意見が多かった。視覚・聴覚の情報がともなう教材の利点が大きく影響を与えていると考えられる。

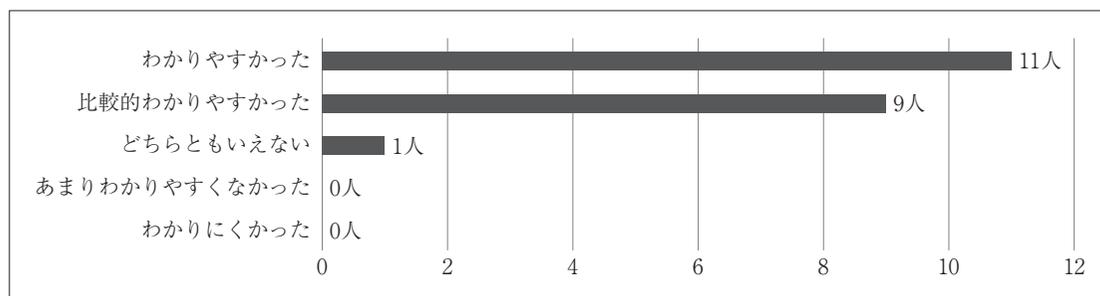
6-2. 教材のわかりやすさ(イラスト・音声など)

次に、教材のわかりやすさに関して質問した。

質問3 このショートビデオの音声は聞きやすかったですか(中身が理解できるかでなく問題なく聞けたか)



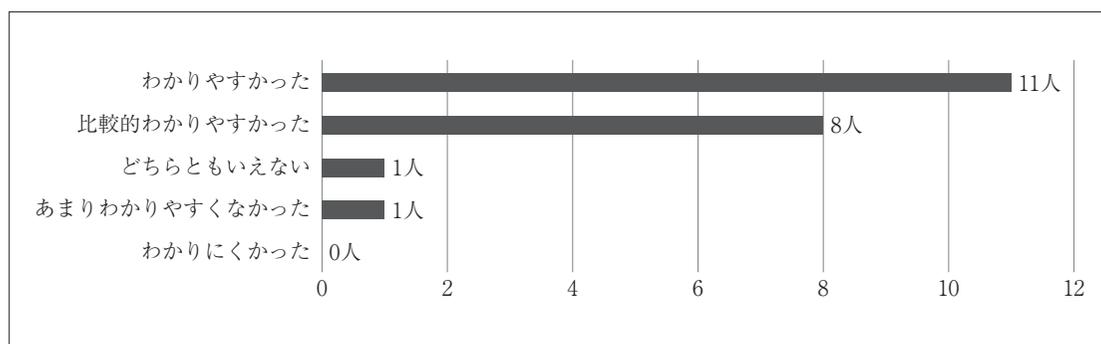
質問4 このショートビデオのイラストはわかりやすかったですか?



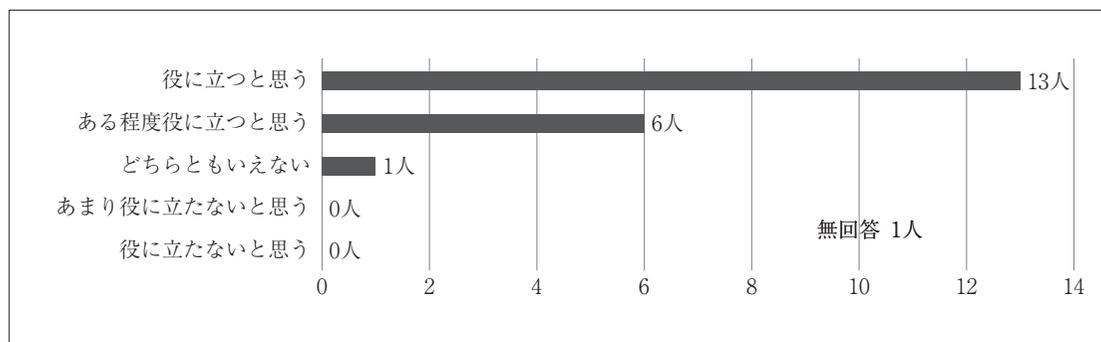
音声やイラストに関しては、特に問題はなかったことが理解できる。音声は初級学習者用にスピードを落としたわけではないが、速度に関して特にわからないといった意見は出なかった。

さらに、学習の目標となっている個別の項目のわかりやすさ（学習目標項目の明確さ・場面との結びつけ・各表現や文法上のポイントなど）について質問した。

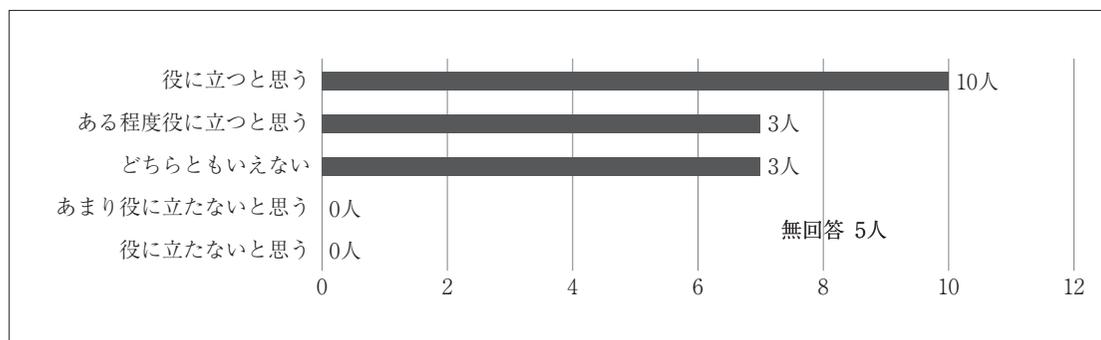
**質問 5** このショートビデオの学習すべき大切なポイントはわかりやすかったですか？



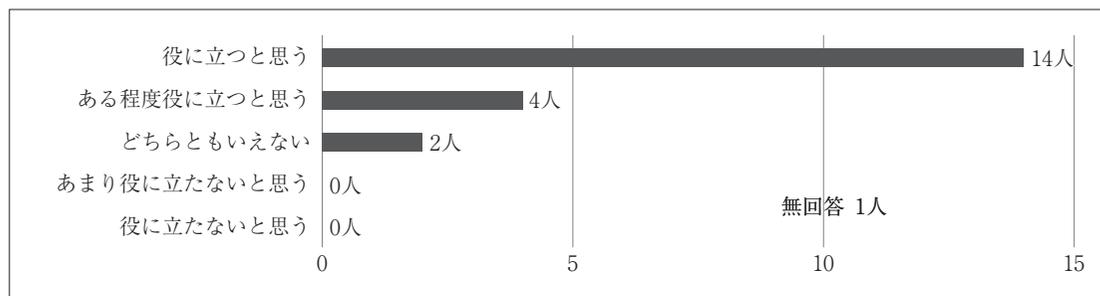
**質問 6** 今回のショートビデオは、frío, resfriado, cansado, contento…などの語彙を理解・習得するのに役立つと思いますか？



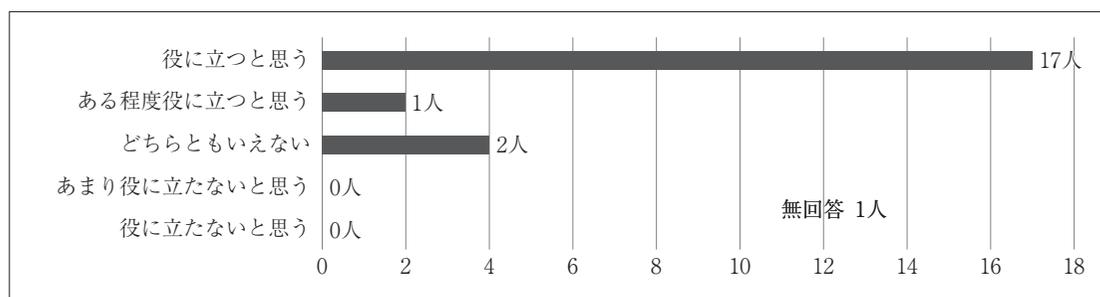
**質問 7** 今回のショートビデオは、tener, estar のどちらを使うかなど動詞を理解・習得するのに役立つと思いますか？



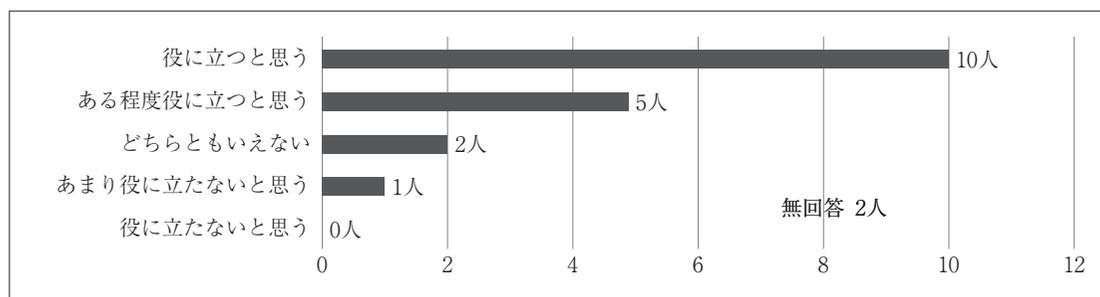
**質問 8** 今回のショートビデオは、mucho (a) , muy, un poco, un poco de…などとの組み合わせや使い方を理解・習得するのに役立つと思いますか？



**質問 9** 今回のショートビデオは、音声と場面のイメージを結びつけるのに役立つと思いますか？



**質問 10** 今回のショートビデオは、男女、単数複数など主語が変わった時の使い方を理解・習得するのに役立つと思いますか？



「学習するべき大切なポイントはわかりやすかったか」という質問に対し、21名中19名(90%)が「わかりやすかった」「比較的わかりやすかった」と回答している。このことから学習上のポイントがどこにあるのかを把握することはできたと考えられるが、語彙や動詞の使い分け、程度の表現、音声と場面との結びつけ、男女、単数・複数の使

い分けなど、個別の項目をみていくと傾向の違いがみられた。音声や場面、程度の表現との結びつきはわかりやすいと答えた学習者の割合が高く、動詞や男女、単数・複数の使い分けなど形式の変化や規則に関してはわかりやすさいと答えた学習者の割合が下がる傾向がみられた。これらのことから、動詞や男女、単数・複数の使い分けの項目

に関しては教員の介入をとまなう文法の確認や演習が必要であると推測され、また一つの映像教材に含める新出項目の数などを考慮する必要性があった可能性も考えられる。

### 6-3. 本教材の教材の位置付けと使い方

次に本教材がさまざまな教材の中でどのような位置づけにあり、学習者がどのように使いたいかを知るための質問をした。

(選択肢)

- a. 教科書やプリントを中心に学ぶ従来型の方法。
- b. 教科書やプリントに加えてショートビデオも使う方法。
- c. ショートビデオのみで学ぶ方法。

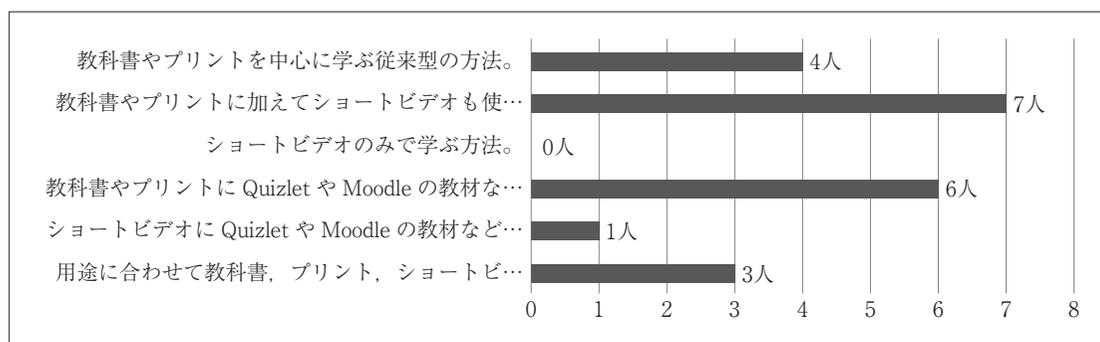
d. 教科書やプリントに Quizlet<sup>(9)</sup> や Moodle<sup>(10)</sup> の教材など電子媒体の教材を組み合わせる方法。

e. ショートビデオに Quizlet や Moodle の教材など電子媒体の教材を組み合わせる方法。

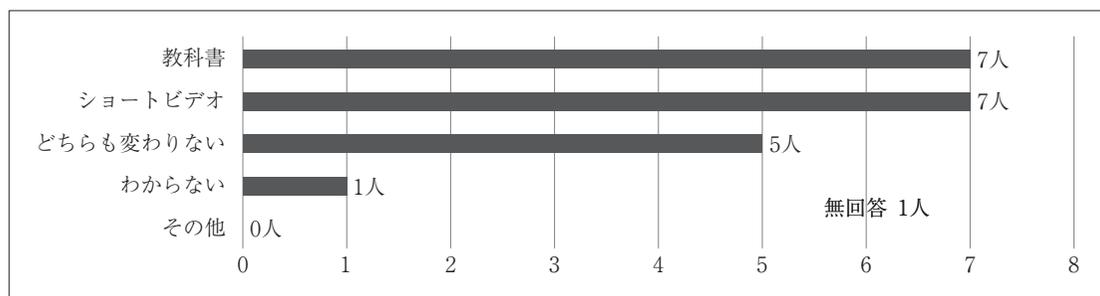
f. 用途に合わせて教科書, プリント, ショートビデオ, Quizlet, Moodle などを組み合わせる方法。

質問 11 の「自分にとって一番学びやすい, あるいは効果的だと思う教材はどれですか。」の問いに対して, 映像教材のみで学ぶことを効率良いと考える学習者は 0 名であった。教科書やプリントを用いた従来型の学習方法を選んだ学習者からは自由回答で「実際に書くほうが覚えやすい。」「自分は目

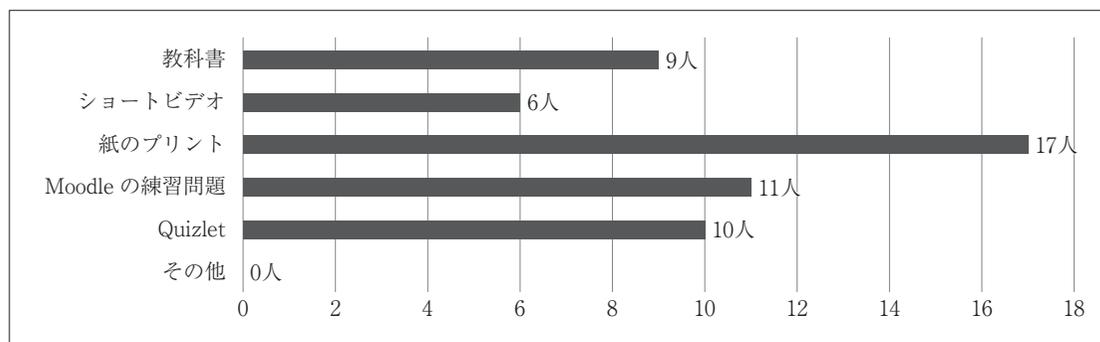
**質問 11** ショートビデオを含む教材全般について聞かせてください。自分にとって一番学びやすい, あるいは効果的だと思う教材はどれですか。



**質問 12** 教科書や紙の語彙リストとショートビデオとを比較すると, どちらの内容が長い時間覚えていられそうな気がしますか? (例: 夏休み明け, 1年後などを想像して)



質問 13 あなたは試験前の復習には何が使いやすいと思いますか？（複数回答可）



で覚えるほうがやりやすい。」「プリントの方が学習しやすい。」などの意見が寄せられた。また、全体の81%にあたる17名の学習者が教科書やプリントに加えて、映像教材やQuizletのオンライン単語カード、e-learning システムの Moodle の小テストなど別の媒体を組み合わせて学習する選択肢を選んでいる。また、映像教材を取り入れて学習することを選択した学習者からは、本教材に関して「頭に入りやすい。」「test 対策になる。」「わかりやすい。」「ビデオなら通学中も電車の中で単語の勉強ができると思ったから。」「(教材が) Moodle にあると電車の中でなどちょっとしたときにでも勉強できる。」などの意見があり、また、「ショートビデオは全体のイメージが付きやすいですし、Quizlet は単語帳を自動的に作ってもらえるので勉強しやすいです。」「動画などを見たあとに教科書で確認すると覚えやすいから。」との意見もあった。そのほかの教材についても、「教科書は書き込むことができるし、Quizlet は電車などで気軽に勉強できるから。」「例えば、Moodle のような電子機材 [sic] があるとプリントや教科書を家に忘れたときにも授業の復習をすることができる。」「書いて覚えたあとに確認として Quizlet などを使いたいから。」などのコメントがあり、多くの学習者が自分の学習スタイルや、学習の段階・用途によって教材を使い分けているこ

とが理解できる。

長い時間覚えていられるかについての学習者の印象については、紙媒体と映像教材の間で大きな違いの傾向はみられなかったが、試験前の復習に関しては85%にあたる17人の学習者は紙媒体のプリントが使いやすいと選択しており、ほかにも Moodle の練習問題や Quizlet など文字の練習問題や単語帳を選択した学習者が多いことから、最終確認には紙・電子媒体の双方を含む文字情報を使いたい学習者が多いことが理解できる。これらのことから、本映像教材は学習者にとってさまざまな教材の選択肢の一つであり、プリントや Quizlet などほかの教材と組み合わせて提供し、学習者が好みやスタイルに合わせて復習できる形式で提供することが望ましいと考えられる。

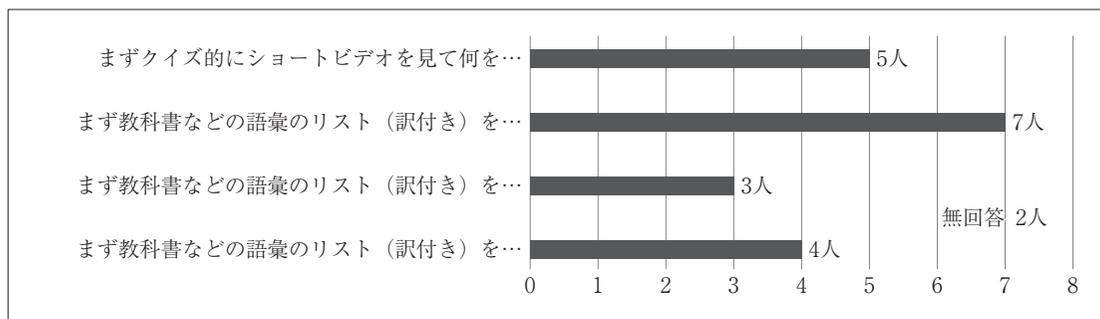
#### 6-4. 映像教材を使うタイミング

次に、本映像教材を学習のどのタイミングで使用したらよいと思うかについて質問した。

(選択肢)

- a. まずクイズ的にショートビデオを見て何を言っているのか予想してみる。そのあと授業で答え合わせをしながら教員と文法や表現のポイントなどを確認し、練習問題やペアワークなどを行う。

**質問 14** ショートビデオを使うとしたら、どのような流れで使うと自分にとってわかりやすい、あるいは効果的だと思いますか？（複数回答可）



- b. まず教科書などの語彙のリスト（訳付き）を見てある程度表現を頭に入れる。次にショートビデオを見て内容を確認したあと、文法やポイントの説明を受け、練習問題やペアワークなどを行う。
- c. まず教科書などの語彙のリスト（訳付き）を見てある程度表現を頭に入れる。その後、文法説明を聞き、次にショートビデオを見て内容を確認し、最後に練習問題やペアワークなどを行う。
- d. まず教科書などの語彙のリスト（訳付き）を見てある程度表現を頭に入れる。その後、文法説明、練習問題・ペアワークなどを行い、最後にショートビデオを見る。

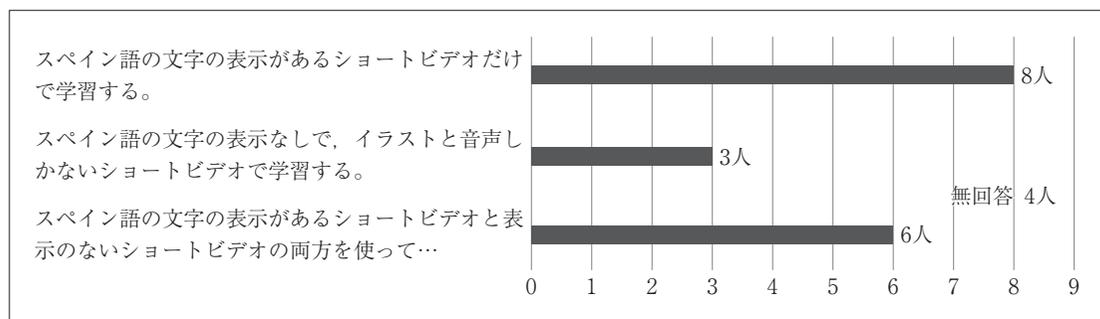
学習のどのタイミングで映像を見るのが望ましいかの質問に関しては、四つの選択肢の間に決定的な違いはみられなかった。しかし、映像教材を見る前に語彙のリスト（訳付き）である程度表現を頭に入れるパターン（b, c, d）を選んだ学習者が合計で14人と67%になる（無回答2名を除くと73%）ことから、今回のようにわかりやすい文脈でフレーズを提供しても予測するタイプの在り方を選択した学生は少数だった。自由回答でも、「一度プリントで単語を覚えてからビデオを見れば発音もどんな場

面で使うかわかるようになってしまったから。」「意味がわからないままだと覚えられないから。」「表現を理解したうえで見たほうが、ビデオを見ながら理解を深められるから。」「まず、授業を聞いて自分たちで理解して練習をしてから最後の確認や自宅学習で使いたい。」「ある程度頭に入れた状態のほうがより理解できるから。」「はじめにある程度単語や文法の知識を理解したうえで動画を見たほうが動画のコンテンツを理解しやすいと思ったから。」「ショートビデオを真ん中に挟むと理解しやすそうだから。」などのコメントが寄せられた。先に映像で予測する選択肢を選んだ学習者からは「自分が予想したやつが合っていたら覚えるから。」との意見も寄せられたが、映像を見る前に語彙リストの訳や文法説明などの予備知識を入れておきたい学習者が大半であり、本教材で意図したフォーカス・オン・フォームの考えに基づいた流れの中で、動画を使って予測しながら学習を進める方法を選択した学習者は全体の4分の1以下の5人とどまった。

#### 6-5. 文字の表示及び映像教材に必要と思われる要素

最後に文字表示と映像教材の関連、および映像教材に必要と思われる要素について質問した。

質問 15 ショートビデオのスペイン語の表示について、自分にとってはどれが一番効果的だと思いますか？

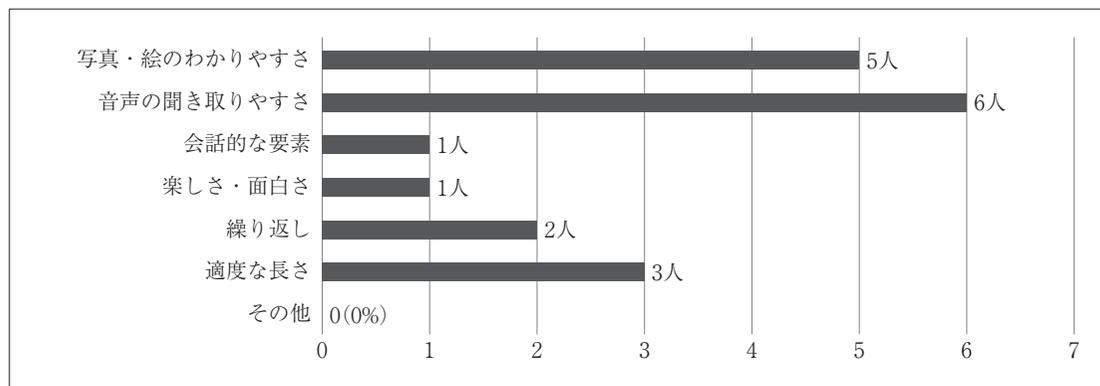


(選択肢)

- スペイン語の文字の表示があるショートビデオだけで学習する。
- スペイン語の文字の表示なしの、イラストと音声しかないショートビデオで学習する。
- スペイン語表示があるショートビデオと表示のないショートビデオの両方を使って学習する。

スペイン語の文字の表示の有無に関しては、「表示ありのみ」8人(47%)、「表示ありとなしの両方」6人(35%)を選択した人が合計14人(82%)で「表示なし」の3人(18%)を大きく上回り、学習者は多くは文字の表示があった方がよいと考えていることが理解できる。また、映像教材に必要な要素としては「写真・絵のわかりやすさ」「音声の聞き取りやすさ」などが選択される傾向にあった。

質問 16 ショートビデオの学習効果を高めるために必要だと思うことは何ですか？(複数選択)



## 7. 結論と今後の課題

以上紹介した「体調・感情の状態」を表すスペイン語表現の映像補助教材は、アンケート調査の

結果、回答者21人全員が「学習に有用である」と判断し、特に全体的なわかりやすさ、場面や音声と表現との結びつき、学習すべきポイントを特定するなど肯定的な評価をしていることがわかった。このことから、本教材は教科書での学習

を補助する最初のインプットを与える教材として有効であると考えられる。

しかしながら、導入の在り方に関しては、7割近くの回答者が映像教材を見る前に語彙や文法の日本語での説明を行う形式がよいと回答しており、教員が意図したフォーカス・オン・フォームの形式の指導につなげるための、語彙や文法の事前説明を行わず、文字を表示しないで行う形のインプットは、少しの学習者からしか支持されなかった。教材の使い方に関しては、学習者の言語適正やすでに培ってきた学習スタイルなどさまざまな要因が関連することや、学習者が感じるわかりやすさが、長期的な視点でみた場合、必ずしも実際の習得につながるとは限らないこともあるため、この調査結果のみでなんらかの結論を出すことはできないが、学習者のタイプや授業の最終的な目標など、より適切な形を教員が現場の状況に合わせて選択する必要があると思われる。

また、本教材の個別の要素に関しては、映像にテキストを文字表示してほしいという意見が多かったことや、選択する動詞、男女・単数複数を使い分けなどの文法項目ではわかりやすいと回答した学習者が減少傾向にあったことから、文字情報の有無や文字を表示するタイミング、一つの映像に入れる項目の数の検討、インプット強化の工夫など、さまざまな点を改善する必要があると思われる。

最後に、学習者は教科書やプリントを含むさまざまな媒体をそれぞれのスタイルに合わせて組み合わせ合わせて使っていることが確認され、試験前の復習や個別の文法的な要素の確認については紙や教科書、e-learningやQuizletなどの電子媒体を含む文字の教材を用いたい学生が多いことから、本教材のような映像補助教材は、数ある種類の教材の一つと位置づけ、必要に応じて文字媒体の教材

をとまなう形で提供することが望ましいと考えられる。

本研究はJSPS 科研費 18K12461 の助成を受けたものです。

## 注

- (1) 拙稿(2018)において著者は第二外国語用のインプット用の映像教材に関して、第二言語習得の観点以外にも、第二外国語のプログラムや現状に合わせて講義シラバスと指定教科書にしたがった内容にする・短時間で視聴可能にする・短いシンプルなフレーズを使用する・日本語の音声や訳をつけない・音声はナチュラルスピードかそれに近い速度にするなど、いくつかのポイントをまとめた。
- (2) 中でもリスニングに話者映像を提示し、聴解促進効果について調査した達川(2010)の研究は示唆に富んでいる。
- (3) ヨーロッパ共通参照枠制定後にスペイン語のレベル設定と指導要綱を編纂したセルバンテス協会のPlan curricular del Instituto Cervantesでは、体調・感情の状態の項目はA1・A2レベルの“3.12. Expresar alegría y satisfacción”, “3.13. Expresar tristeza y satisfacción”, “3.15. Expresar aburrimiento”, “3.17. Expresar enfado e indignación”, “3.18. Expresar miedo, ansiedad y preocupación”, “3.19. Expresar nerviosismo”, “3.30. Expresar sensaciones físicas”, “13.1. Salud y enfermedades” “13.3. Síntomas”などで扱われている。
- (4) Gass (1997, 2013) と村野井(2006)をもとに廣森(2015)が作成した図に基づく。
- (5) インプット強調とも訳され、視覚的な効果のみに言及されることもあるが、本稿では長崎、島田(2011)の「テキスト内の目標言語項目を下線や太字にして視覚的に目立たせたり、イントネーションを用いて聴覚的に強調すること」の定義に従い主に後者の聴覚の意味で使用している。
- (6) ラゴス、モレナ、落合、大森(2016)『発見！大好き！！スペイン語！！1』東京、朝日出版社、第5課p.36-Bのリストにある12の表現。
- (7) 「いらすとや」と「イラストAC」のサイトから無料素材を選んだ。イラストの典拠情報は巻末参照。
- (8) 音声はともにスペイン語教育に携わるBernardo Astigueta氏(アルゼンチン)、Angustias de Arcos氏(スペイン)がそれぞれ男性・女性の声を吹き込んだ。
- (9) オンライン上の無料で使用可能な学習ツール。語

彙や表現を学習するための単語カードを音声つきで自動作成することができる。授業では教科書と映像の学習を補助ツールとして使用した。

- (10) 世界規模で使用されているe-learningシステム。授業では明治学院大学教養教育センターのMoodleを使用した。

#### 参考文献

- Gass, S. M. (1997). *Input, interaction, and the second language learner*, N.J: Lawrence Erlbaum Associates.
- Gass, S. M., & Selinker, L. (2001). *Second language acquisition : An introductory course* (2nd ed.). Mahwah, N.J: L. Erlbaum Associates.
- Instituto Cervantes (2007). *Plan curricular del instituto cervantes : Niveles de referencia para el español* (2nd ed.). Madrid: Biblioteca Nueva.
- Krashen, S. D. (1992). *The input hypothesis : Issues and implications*, Torrance, CA: Laredo Pub. Co.
- ピラル・ラゴス, コンチャ・モレノ, 落合左枝, 大森洋子 『発見! 大好き!! スペイン語!!! 1』 東京, 朝日出版社, 2016.
- 中島さやか. 「初級学習者向けスペイン語「hay」のインプット用映像教材と授業における使用例」『カルチュラル』, 13(1), 明治学院大学教養教育センター紀要, 2019, 101-112.
- 和泉伸一. 『「フォーカス・オン・フォーム」を取り入れた新しい英語教育』 東京: 大修館書店, 2009.
- 和泉伸一. 『第2言語習得と母語習得から「言葉の学び」を考える: より良い英語学習と英語教育へのヒント』, 東京, アルク, 2016.
- 国立国語研究所. 『視聴覚教育の基礎』. 東京: 大蔵省印刷局, 1995.
- 廣森友人. 『英語学習のメカニズム: 第二言語習得研究にもとづく効果的な勉強法』 東京: 大修館書店, 2015.
- 渡部良典, 池田真, 和泉伸一. 『CLIL (内容言語統合型学習): 上智大学外国語教育の新たな挑戦. 第1巻, 原理と方法』. 東京: 上智大学出版, 2011.
- 達川奎三. 「外国語リスニングにおける話者映像提示の聴解促進効果」. 『広島外国語教育研究』13, 広島大学, 15-31, 2010.

- 長崎睦子, 島田洋子. 「第二言語学習における多量のインプット強調と明示的指導の効果」『聖学院大学論叢』23(2), 聖学院大学編, 15-30, 2011.
- 村野井仁. 『第二言語習得研究から見た効果的な英語学習法・指導法』. 東京: 大修館書店, 2006.

#### イラストの出典

- イラスト1: 「暑い!」 まめすけ イラスト AC, イラスト2 「額に手をあてる女性」 まいこ イラスト AC, イラスト3 「暑い人のイラスト (男性)」 いらすとや, イラスト4 「暖房のない寒い教室のイラスト」 いらすとや, イラスト5 「風邪ひいたOL」 mikenopop-design 「エアコンが寒い女の子」 はりうー イラスト AC, イラスト6 「滝に打たれる男性」 mono777 「寒がりな女の子」 mono777 「風びゅん太郎」 Mizue.O イラスト AC, イラスト7 「空腹な犬のイラスト」 いらすとや, イラスト8 「お腹が空いた子供のイラスト (女の子)」 いらすとや, イラスト9 「ひもじい」 稲村チサユ イラスト AC, イラスト10 「喉が渴いた犬のイラスト」 「喉が渴いた猫のイラスト」 いらすとや, イラスト11 「喉が渴いた人のイラスト (女性)」 「喉が渴いた人のイラスト (男性)」 いらすとや, イラスト12 「のどが渴いた人のイラスト (女性)」 「のどが渴いた人のイラスト (男性)」 いらすとや, イラスト13 「過労の主夫のイラスト」 「あくびをしている人のイラスト (男性)」 いらすとや, イラスト14 「過労の主婦のイラスト」 「あくびをしている女の子のイラスト」 いらすとや, イラスト15 「熱を出した赤ちゃんのイラスト」 いらすとや, 「熱がある」 acworks イラスト AC, イラスト16 「ぶえっくしょい」 なのなの, 「発熱」 やまびこ堂 イラスト AC, イラスト17 「机に伏す 女性」 bonbon, 「雨 横になる女性」 なのなの イラスト AC, イラスト18 「緊張する少年のイラスト」 mono777 「トライアングルな人々・緊張」 KONI イラスト AC, イラスト19 「入学試験」 ヒューさん イラスト AC, イラスト20 「テストを見て喜ぶ生徒のイラスト (女子学生)」 「テストを見て喜ぶ生徒のイラスト (男子学生)」 いらすとや, イラスト21 テストのイラスト 「100点の答案」 いらすとや, イラスト22 「ほっぺを膨らませて怒る子供のイラスト (男の子)」 いらすとや, イラスト23 「凄い怒る人のイラスト (男性)」 いらすとや, イラスト24 「自転車どろぼうのイラスト」 いらすとや